

- 横手集落は土地改良区理事を中心に、担い手対策として補助事業を活用した圃場排水整備等と水田裏作の導入取組の取組を開始
- 地域の担い手となる営農組織を設立し、水田裏作での園芸品目導入による栽培体制の整備を進め、新規にブロッコリー栽培、延べ97aを作付け。
- 営農組織の育成、担い手確保に取組み、組織の2要件化、新規認定農業者候補5名、新規就農者1名を確保
- 集落全体の活動への取組化として、人農地プラン実質化を進めた。

具体的な成果

普及指導員の活動

1 園芸品目の試作開始

- 営農組織で、JA推進品目から選定したブロッコリーを春・秋作で延べ97a試作展示圃を行い、JA部会と野菜価格安定事業へ加入。



ブロッコリー試作圃



土地改良区理事会

平成31年度:水田園芸品目推進として、経営所得対策県メニュー取組支援、水田園芸試作展示圃設置、簡易地下水位及び透水係数の調査など延べ18回の研修会・現地調査を実施。

平成31年度:集落営農組織の育成、担い手の確保育成として、リーダーとその子弟を対象とした認定農業者数の拡大、Uターン就農者の確保・育成など延べ5回検討会開催。

2 担い手育成・確保

- 組織の2要件化と認定農業者候補5名と新規就農者1名の確保

平成31年度:水田営農プランの策定で、地域の将来営農意見集約、基盤整備事業等の取組支援、担い手集積目標の検討など延べ9回の検討会を開催

3 水田営農プラン作成

- 基盤整備事業(受益面積約20ha)の取組と連動した担い手集積目標の検討と事業スケジュール目標の作成、人農地プランの実質化



担い手農地集積予想図

普及指導員だからできたこと

・地域より要望のある基盤整備等の事業のコーディネートと水田畑地化推進にかかる園芸品目導入の支援を関連させて、地域リーダーと営農組織の育成を進めることができた。

・野菜栽培未経験者が中心となった地域でのJA推進園芸品目新産地として育成ができた。